

# 地域と人権

10/15 2020  
No.1213

毎月15日発行  
1972年9月18日 第三種郵便物認可  
全国人権連ホームページ  
http://zjr.sakura.ne.jp/

菅義偉首相による学問の自由を侵害する日本学術会議会員推薦者の任命拒否に関し、違法な秘密裏の法解釈適用に強く抗議するとともに、拒否理由を明らかにし、あらためての任命を求める。

2020年10月5日 全国地域人権運動総連合常任幹事会

## 東京、兵庫で定期大会を開催

東京

### 人権連組織の強化を具体的に論議

東京人権連第48回定期大会

東京人権連は7月26日、台東区で第48回定期大会を開催しました。大会は、「新型コロナウイルスの改憲策動を許さず、東京の同和行政の廃止、靴履物など家内労働者の仕事、生活を守り、人権連組織の建設を」との決意を固め合いました。

#### 団結ガンバロー

大会の冒頭、山本金義委員長が「保護と保障の観点から、人権連組織の強化を具体的に論議する」との決意を固め合いました。片倉洋副委員長は方針案で「東京の同和行政の廃止、同和問題専門相談事業の廃止に力を尽くすこと。都が取り組むべき人権連組織の強化をめぐり、憲法の人権保障の理念を明確にし、個人の尊厳とジェンダー平等、性の多様性を認めることなど」を強く求めました。



#### 団結ガンバロー

さらに、東京人権連の組織強化の取り組みについて具体的に課題を提起し、強固な人権連組織の構築を訴えました。再任された役員  
執行委員長 山本金義  
副委員長 梶山達史  
書記長兼務 片倉洋  
会計 三浦七郎

兵庫

### コロナ危機を乗り越え「貧困と格差」を是正し人権が保障される地域社会の実現をめざして

兵庫人権連第9回定期総会

猛暑の中、地域人権連の発展を  
意思統一した第9回定期総会



兵庫人権連は7月26日、明石市で第9回定期総会を開催しました。総会は、新型コロナウイルスの感染拡大もあって、規模を縮小し、午前中のみの開催とし、招集代議士の北川伸一理事長が議長に北川伸一理事長を選出。前田泰義議長が議長に「会員や地域の住民の生活と仕事を大変で、暮らしと営業を守る運動を強めたい」という「部差別条約」制定策動に対しては断固として反対運動を展開しているが、この問題は、市民の人権を擁護するために「も大事な運動」と強調。この後、前

田武事務局局長は「反対運動が大きく発展した町では5人の議員が反対。『条例』が制定された直後には『人権連多可支部』が結成され、すでに反撃が始まっています。『2022年』は『全国水平社創立100周年』を迎えることから、本部の記念行事の計画にも加え、兵庫の解放運動の年表作成に取り組みと2等提案しました。再任された役員  
議長 前田泰義  
副議長 西本嘉宏 増本勝彦 松下修治  
事務局次長 前田武 事務局長 西塚進 村上保

岡山

### 9・19 地域人権みかどの会スタンディング宣伝



涼しい秋の早朝、「9条改憲すな」と訴えるみなさん  
安倍法制が強行採決されて5年目となる9月19日の早朝、地域人権みかどの会が加盟する三門革新懇は、毎月「戦争法廃止」スタンディングを行い、6人が参加しましたが、引き続き宣伝行動を実施することを確認しました。



### 全水100周年に向けて

全水100周年を迎え、考えること⑥  
全国地域人権運動総連合代表委員 吉村 駿一

1. 1922年（大正）維新となり、明治4年（1871年）3月の水平社宣の太政官布告で賤称が言は、「人の世に熱あ廃止され、法制度上は平等となるも社会意識は変化せず、封建制の遺物として残りまし